

平成19年度第2回交付 地域自立・活性化交付金 都道府県別、地域別一覧

都道府県名	計画の名称	計画期間		拠点 施設 整備 の有無	計画の概要	基幹事業	提案事 業の 有無	備考
		開始 年度	終了 年度					
青森県	下北地域	19	23	-	広域交通拠点である東北新幹線七戸駅(仮称、H22年度開業予定)と下北地域の観光拠点との連携を強化することにより、広域的な観光の活性化を図る。そのために必要な下北地域内の観光拠点間のアクセスを改善するための道路整備を推進する。	道路	-	地方再生モデルプロジェクト
群馬県	東毛広域幹線道路沿線地域	19	23		群馬県東毛地域において、主に輸送機器、食料品、機械製品、金属製品等を製造する工場が集積する工業団地と首都圏との連携を改善するために、高速道路へのアクセス道路となる東毛広域幹線道路の整備を推進する。また、安全な生産活動を支えるために、治水施設の整備を推進する。	河川、道路	-	企業立地促進法基本計画(アナログ関連産業、健康科学産業、基盤技術産業)の同意
長崎県	島原半島地域	19	23		島原半島地域の温泉、自然、歴史、食などの豊かな観光資源を活かした、広域観光の活性化を図る。そのため、鉄道駅や高速道路ICからのアクセス改善のための道路整備、フェリー接岸施設や新鮮な水産物を供給するための港湾整備を行う。	河川、道路、港湾	-	地方再生モデルプロジェクト
合計		3計画						

平成19年度 地域自立・活性化交付金 都道府県別、地域別一覧

都道府県名	計画の名称	計画期間		拠点 施設 整備 の有無	計画の概要	基幹事業	提案 事業 の有無	備考
		開始 年度	終了 年度					
1 青森県	下北地域	19	23	-	広域交通拠点である東北新幹線七戸駅(仮称、H22年度開業予定)と下北地域の観光拠点との連携を強化することにより、広域的な観光の活性化を図る。そのために必要な下北地域内の観光拠点間のアクセスを改善するための道路整備を推進する。	道路	-	地方再生モデルプロジェクト
2 宮城県	宮城県 (高度電子・自動車関連 産業活性化基盤整備計 画)	19	23	-	競争力ある高度電子機械産業及び自動車関連産業の集積を目的として、地域産業活性化計画(経済産業大臣同意)に集積区域を定めた。各集積区域と仙台空港や仙台塩釜港(仙台港区)の連携と集積区域相互の円滑な連携を確保するために、高規格道路を始めとする広域道路ネットワークの整備を推進する。また、集積区域での安全な生産活動を支えるために、治水施設の整備を推進する。	河川、道路	-	地域自立・活性化事業推進費 配分対象1件(直轄国道) 企業立地促進法基本計画の同意
3 福島県	相双地域	19	23	-	相双地域への常磐自動車道の北進を契機として、高速道路を活かした広域的な観光の活性化を図る。そのため、南相馬市にオープンする「野馬追の里」など、相双地域に分散する各観光施設を結ぶ道路整備や案内標識の充実により、新たな観光ルートの設定や各観光施設間の連携強化を図る。あわせて、「うつくしま浜街道観光推進会議」、「ロマンチック街道」など街道を通じた地域の魅力づくりのための様々な団体の取り組みの連携を強める。	道路	-	
4 群馬県	東毛広域幹線道路沿線 地域	19	23	-	群馬県東部地域、東毛地域において、主に輸送機器、食料品、機械製品、金属製品等を製造する工場が集積する工業団地と首都圏との連携を改善するために、高速道路へのアクセス道路となる東毛広域幹線道路の整備を推進する。また、安全な生産活動を支えるために、治水施設の整備を推進する。	河川、道路	-	企業立地促進法基本計画(ア ナログ関連産業、健康科学産 業、基盤技術産業)の同意
5 埼玉県	圏央道沿線地域	19	23	-	首都圏中央連絡自動車道(「圏央道」)の開通を十分に活かした産業集積の支援を促す。そのため、圏央道沿線で広域的活動を行っている製造業(食品、建材、自動車関連機械、建設機械など)が立地する工業団地から圏央道のICへのアクセス道路を整備し、輸送コストの縮減や移動時間の短縮を図る。	道路	-	地域自立・活性化事業推進費 配分対象1件(直轄国道)
6 千葉県	南房総地域	19	23	-	首都圏住民の第二のふるさととして、高速道路の開通により首都圏からのアクセスが飛躍的に向上したことを活かし、高速道路から各観光資源に至る道路整備を行うことにより観光ネットワークをさらに充実させ、観光客(特に長時間滞在・宿泊旅行者・教育旅行者)の増大を図る。	道路	-	
7 神奈川県	三浦半島地域	19	23	-	三浦半島地域の歴史的遺産古都鎌倉の広域観光活性化と研究開発拠点横須賀リサーチパーク等における研究開発活動を促進する。そのため、半島という地理的な特性から生じる交通アクセス上の課題を解消するための道路整備を行う。	道路	-	
8 神奈川県	箱根及び周辺地域	19	23	-	国際観光地として内外から高い集客力を誇る箱根地域への交通渋滞が厳しい状況にあるため、アクセス道路の整備を行うことにより利便性を向上し広域観光の活性化を図る。	道路	-	
9 新潟県	新潟県 (交流人口拡大計画)	19	23	-	全国に誇れる食、自然、イベントを中心に、新しい観光資源の再発見・開発、地域の特徴を生かしたまちづくり、中国・台湾・韓国などからの観光客の誘致と外国人を含む観光客受入態勢の整備などを進めるとともに、他県との連携による「広域観光」に取り組み、観光業全体のポトムアップと交流人口の拡大を図る。そのため、必要な公園事業、道路事業等を行う。	公園、河川、道路、港湾	-	
10 新潟県	新潟、長岡、上越地域	19	23	-	北東アジア地域への物流は今後急増が見込まれるものの、現在の物流拠点は太平洋側に立地しており、日本海側と北東アジアとの物流には時間とコストを要する状況にある。そのため、新潟、長岡、上越地域の物流拠点を北東アジア交流圏の表玄関口とするための機能強化への支援、背後圏と北東アジアとの結びつきの強化に資する交通インフラの整備強化、災害に強い産業基盤の整備等を行う。	河川、道路、港湾	-	
11 富山県	南砺地域	19	23	-	東海北陸自動車道等の整備充実に伴い、飛騨・東海地方などとの広域交流の拡大が期待される南砺地域において、世界文化遺産「五箇山合掌造り集落」をはじめとする豊かな歴史・文化を活かした観光資源を連携させて広域観光の活性化を図る。そのため、東海北陸自動車道のIC等から観光資源へのアクセス道路や観光資源を相互に連絡する道路の整備を行う。	道路	-	
12 富山県	射水地域	19	23	-	東海北陸自動車道等の整備充実に伴い、飛騨・東海地方などとの広域交流の拡大が期待される射水地域において、海王丸パークなど地域内の美しい景観、豊かな歴史・文化を活かした観光資源を連携させて広域観光の活性化を図る。そのため、観光資源を相互に連絡する道路整備を行うとともに、美しい自然景観(水辺)を活かしたまちづくりを進める。	道路	-	
13 山梨県	国中地域	19	23	-	国中地域の、国内有数の生産量・出荷額を誇るワインやもも・ぶどうといった農産物の生産地(ワイン工場や果樹園群)を拠点として、「やまなしブランド」としての全国展開に伴う地場産業活性化と広域観光の活性化を図る。そのため、拠点施設へのアクセスや回遊機能を強化するための道路整備等を行う。	河川、道路	-	
14 山梨県	八ヶ岳南麓地域	19	22	-	八ヶ岳南麓地域の美術館・博物館が集中する地域において、これらの施設間の連携を進めることにより魅力を高め、広域観光の活性化を図る。そのため、美術館・博物館へのアクセスや回遊機能を強化するための道路整備を行う。	道路	-	
15 山梨県	富士北麓地域	19	23	-	富士北麓地域に立地するコンベンション施設(会議・研修施設)へのアクセスの強化と国際観光地として名高い周辺観光地への回遊性の向上を図るための道路整備を行い、コンベンションエリアとしての魅力向上と観光地としての更なるイメージアップを図る。	道路	-	
16 長野県	北信濃・善光寺・松代地 域	19	23	-	北信地域への北陸新幹線の延伸を見据え、スキー場の活性化、戸倉・上山田温泉施設の有効活用、歴史資産の松代の再整備連携させ、一体的な観光エリアとして広域観光の活性化を図る。そのため、新幹線駅と各観光拠点とのアクセスを強化する道路整備、温泉地・スキー場の再生活動等を行う。	道路	-	
17 長野県	八ヶ岳山麓・軽井沢地 域	19	23	-	八ヶ岳山麓地域への中部横断自動車道の整備とあわせて、国際的観光地である軽井沢地域との連携を強化することにより、広域観光の活性化を図る。そのため、八ヶ岳山麓、軽井沢地域における交通渋滞の解消、観光拠点へのアクセスの強化を図るための道路整備等を行う。	道路	-	
18 長野県	木曾・伊那・飯田地 域	19	23	-	三遠南信自動車道の天竜峡IC(仮称)開通及び供用区間の延伸計画にあわせて、国道361号権兵衛峠道路の開通で季節を問わず30分で往来する事が可能になった木曾谷の観光拠点を含め、木曾・伊那・飯田地域における広域観光の活性化を図る。そのため、各観光拠点へのアクセスを強化するための道路整備、温泉地・スキー場の再生活動を行う。	道路	-	
19 長野県	北アルプス山麓・松本 地域	19	23	-	国営アルプスあすみの公園大町松川地区の開園とあわせて、雄大な北アルプスの魅力を体験できる北アルプス山麓地域の観光拠点、松本城を中心とする松本地域の観光拠点を連携させることにより、広域的な観光の活性化を図る。そのため、各観光拠点間のアクセスを円滑にする道路整備、温泉地・スキー場の再生活動、登山客の利便性の向上等を行う。	道路	-	
20 静岡県	静岡県 (観光"しずおか"地 域)	19	23	-	「観光"しずおか"地域」は伊豆半島、富士スピードウェイ、日本平、浜名湖など多彩な観光地を有する我が国有数の観光地であるが、慢性的な渋滞によるイメージ低下などにより、近年観光宿泊客数が大きく減少している。そのため、空港、新幹線主要駅、ICなどから観光地への陸・海の円滑な交通を確保するとともに、外国人旅行者への観光案内、標識の多言語化を進めることにより、広域観光の活性化を図る。	河川、道路、港湾	-	
21 静岡県	富士山静岡空港周辺 地域	19	23	-	富士山静岡空港の開港を契機として、県内を生産・消費地とする外貨貨物の約4割が県外の港湾、空港を利用している状態を改善し、地域に立地する産業の物流コストの低減と新規産業の集積を図る。そのため、富士山静岡空港、清水港、御前崎港、東名高速道路ICの相互アクセス強化のための道路整備等を行う。	道路	-	

平成19年度 地域自立・活性化交付金 都道府県別、地域別一覧

都道府県名	計画の名称	計画期間		拠点 施設 整備 の有無	計画の概要	基幹事業	提案 事業 の有無	備考
		開始 年度	終了 年度					
22 愛知県	東三河地域	19	23	-	東三河地域には、我が国最大の自動車貿易港(金額ベース)である三河港が立地するとともに、我が国有数の農業生産地域が形成されているが、高速道路網へのアクセスに比較的長時間を要している。そのため、高速道路網へのアクセス強化のための道路整備等を行うことにより、物流の円滑化と地域産業の育成を図る。	道路、港湾	-	
23 三重県	三重県北中部地域	19	23	-	北中部(北勢地域、中勢地域、伊賀地域)においては、競争力ある高度部材産業及びその関連業種(化学工業、石油・石炭、輸送機械、電子部品、電気機械)の集積を目的として、四日市地域(三河地域)を地域産業活性化計画(経済産業大臣同意)の集積区域とした。そのため、集積区域内の産業集積地と高速道路ICや幹線国道との間のアクセス強化のための道路事業と産業集積地相互間の交流・連携を図るための事業等を行う。	道路	-	企業立地促進法基本計画の同意
24 三重県	三重県中南部地域	19	22	-	三重県南部(伊勢志摩地域及び東紀州地域)において、宿泊施設の集積や交流施設等を拠点として、観光旅客に対する観光案内、宿泊などの提供や自然、文化等に関する体験の機会を提供などを行うことにより広域観光の活性化を図る。そのため、周遊性、滞在性の増進と美しい景観の保全を目的とする公園事業、道路事業、ソフト事業等を行う。	道路	-	
25 京都府	丹後・伊根地域	19	23	-	丹後半島地域において、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定された伊根の舟屋や農業公園丹後あじわいの郷などの観光施設へのアクセス道路の整備を行うことにより、天橋立などの周辺の著名な観光地との連携強化を図り広域観光の活性化を図る。	道路	-	
26 京都府	関西文化学術研究都市地域 (京都府精華・西木津地区)	19	22	-	国家的な規模で行われている関西文化学術研究都市の研究活動の活性化を図るために、周辺高規格幹線道路・鉄道駅とのアクセス及び学研都市内クラスター間の円滑な移動を確保する必要がある。そのため、幅員狭小で大型車の通行が困難な道路の改良を行う。	道路	-	
27 兵庫県	但馬地域	19	23	-	但馬地域では、コウノトリの野生復帰事業をシンボルとして、京阪神地域からの近接性と環境優先型の地域づくりを活かした広域観光の活性化を図る。そのため、地域の骨格を成す広域幹線道路やコウノトリ但馬空港から各拠点施設への道路網及び道路景観整備、河川環境整備などを行う。	河川、道路	-	地域自立・活性化事業推進費 配分対象1件(補助国道)
28 兵庫県	北播磨・丹波地域	19	23	-	北播磨・丹波地域では、京阪神地域からの近接性を活かした都市と農山村の交流に関する各種取組を支援することにより、地域の活性化を図る。そのため、アクセスを強化する道路整備と併せて道路景観整備などを行う。	道路	-	
29 奈良県	世界遺産及び世界遺産候補を含む地域	19	23	-	平成22年度に平城遷都1300年を迎えることを契機として、平城宮跡等の世界遺産及び世界遺産候補を拠点とした広域的な観光交流の活性化を図る。そのため、各世界遺産間の移動を円滑にするためのアクセス道路の整備、公園整備等を行う。	公園、河川、道路	-	
30 和歌山県	高野山、熊野三山、熊野古道地域	19	23	-	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力効果を効果的に発信することにより、広域観光の活性化を図り、観光客と地域住民の協働による景観と環境に配慮した地域づくりを進める。そのため、世界遺産およびその周辺地域への安全で景観に配慮したアクセスを確保するための道路整備や観光情報提供の充実を行う。	道路	-	
31 和歌山県	和歌山下津港地域	19	23	-	和歌山下津港地域は全国レベルのヨット競技会が開催されるなど海洋性レクリエーション拠点となっているため、その機能を強化することにより、スポーツ振興と広域的な競技者及び観光客の来訪の増加を図る。そのため、水域環境の適正化と大規模な競技会の開催が可能な施設整備等を行う。	港湾	-	
32 徳島県	徳島県西部地域 (剣山周辺観光活性化)	19	23	-	剣山を核とする県西部地域は、美しい自然と特色ある文化伝統が残り、豊富な観光資源に恵まれているが、アクセス道路の改良が進んでおらず、観光地としての機能が十分に発揮されていない。そのため、観光地への道路の整備等を行うことにより、周遊観光による広域観光の活性化を図る。	道路	-	
33 徳島県	徳島県東部地域 (スポーツ王国づくり)	19	23	-	四国アイランドリーグの開幕など、広域的な集客力のあるスポーツイベントの開催が増加していることを契機として、県民の競技力の強化を進めるとともに、地域にふさわしいスポーツ拠点づくりや県民が身近にスポーツを楽しめる環境づくりを推進し、スポーツによる広域的な地域活性化を図る。	道路	-	
34 佐賀県	佐賀県 (工業・生産機能強化)	19	23	-	競争力ある自動車、造船、及び半導体関連産業の集積を目的として、伊万里・武雄地域においてを地域産業活性化計画(経済産業大臣同意)の集積区域とした。これらの地域を含め、県内全域の既存工業団地19箇所における全国的な規模の工業製品の製造等に関する事業活動を促進する。そのため、拠点施設から高速道路IC等へのアクセス向上のための道路整備を行う。	道路	-	地域自立・活性化事業推進費 配分対象2件(直轄国道、工業用水道事業補助) 企業立地促進法基本計画(武雄・伊万里地域、佐賀市地域)の同意
35 長崎県	島原半島地域	19	23	-	島原半島地域の温泉、自然、歴史、食などの豊かな観光資源を活かした、広域観光の活性化を図る。そのため、鉄道駅や高速道路ICからのアクセス改善のための道路整備、フェリー接岸施設や新鮮な水産物を供給するための港湾整備等を行う。	河川、道路、港湾	-	地方再生モデルプロジェクト
36 大分県	県北・日田地域	19	23	-	県北・日田地域の物流港である中津港の背後地を拠点に、自動車関連産業を核とした企業活動を支え、通勤の利便性など生活環境を改善することにより、地場産業と進出企業の共生・発展による雇用創出と居住者の増加を図る。そのため、必要な道路整備等を行う。	道路	-	企業立地促進法基本計画の同意
37 鹿児島県	鹿児島県 (九州新幹線全線開業に向けた計画)	19	23	-	九州新幹線全線開業の効果を県下全域に波及させるため、鹿児島中央駅を中心とする主要観光ルートのネットワークや観光客の受入体制等を重点的に充実・強化し、観光客等交流人口の増加を目指す。そのため、魅力ある観光地づくりに資する河川事業、自然公園の整備、観光地等へアクセスする道路及び案内標識の整備、観光客誘致に向けた情報発信などの取組等を行う。	河川、道路	-	
合計	23府県 37 計画							